

## ダーク・エンジェル (1935)

THE DARK ANGEL

メディア 映画

ジャンル ロマン스

製作国 アメリカ

色彩 B&amp;W

時間 106分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

## 【解説】

G・ボルトンの、サイレント時代にも一度映画になっている戯曲の映画化で、典型的20～30年代のメロドラマと呼べる一篇。脚色をL・ヘルマンが手掛けているが、そうした新しさは特に作品に反映されていない。キティは幼女時代から、従兄のアランとジェラルドの住む伯母の家を、土曜日になると決まって訪ねた。ジェラルドも彼女が好きだったが、アランとは相思相愛の仲で、彼らの第一次大戦召集が決まって、キティはひどく気を揉んだ。出征から11ヶ月が経って、ようやく二人が一時帰国。アランはキティに求婚したが、翌日に帰隊が決まって、急いで教会に赴くが、式を挙げることができなかった。そして、戦場で被弾し、行方不明のまま死んだと思われていたアランだったが、実は失明して絶望し、名前を隠して童話作家として再出発を凶っていた。そうとは露知らぬジェラルドとキティはやっと気持ちの整理もついて、婚約の発表をしたのだったが……。つむじ風のもたらず運命の変化や予感の中のすれ違い等々、メロドラマの適材適所を守った、古式ゆかしいウェルメイドな作品。アランとキティの人知れぬ初夜の場面が涙の絞りどころで、死の恐怖をふり払いながら、結婚式なんだーと互いに言い聞かせて心を落ちつかせる描写がしんみりさせる。アランにF・マーチ、キティにM・オベロン、ジェラルドにH・マーシャル。これまた適材適所の好キャスト。

## 【クレジット】

監督	シドニー・フランクリン	Sidney Franklin
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn
原作	ガイ・ボルトン	Guy Bolton
脚本	リリアン・ヘルマン モーダン・シャープ	Lillian Hellman
撮影	グレッグ・トーランド	Gregg Toland
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
出演	マール・オベロン フレドリック・マーチ ハーバート・マーシャル ジャネット・ビーチャー ジョン・ハリデイ	Merle Oberon Fredric March Herbert Marshall Janet Beecher John Halliday